

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

問4 鳥取県が実施している施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

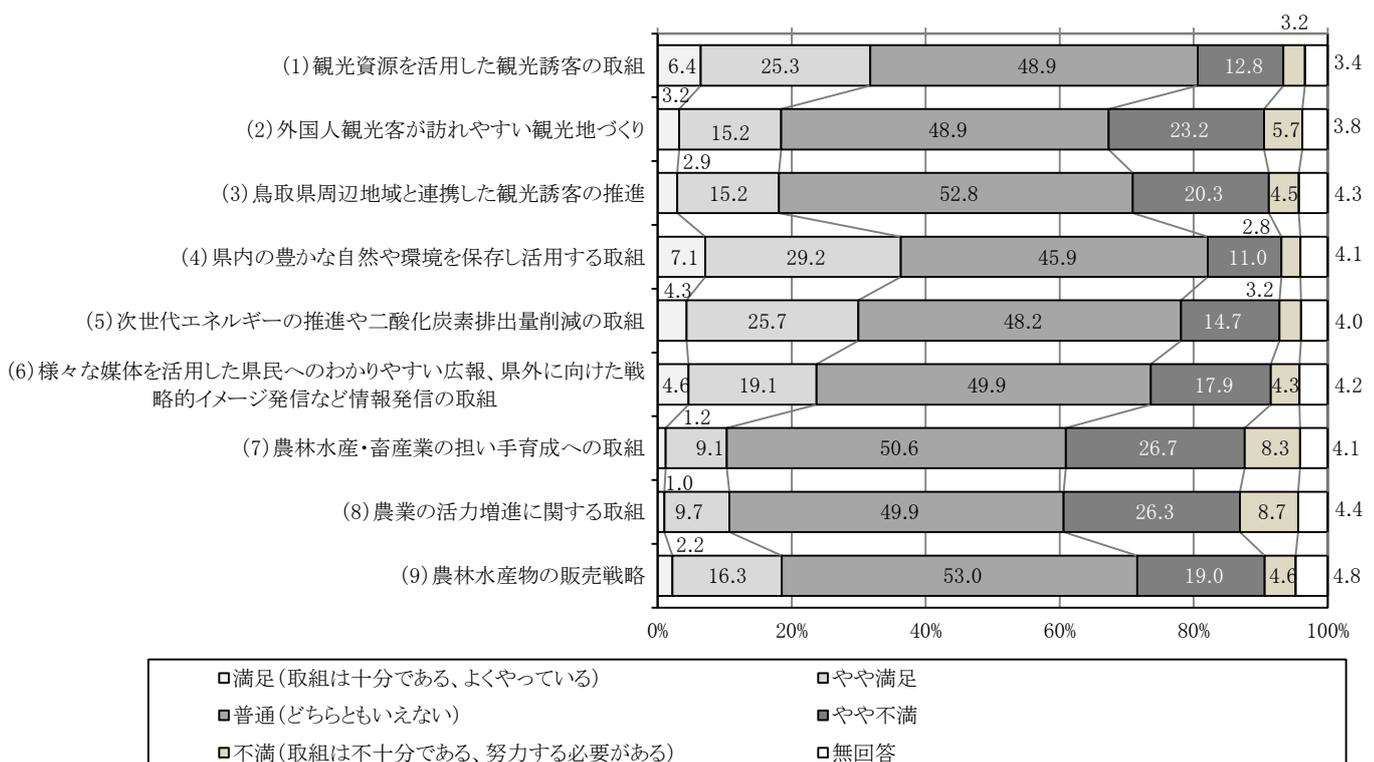
問 4-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組に「満足」

農林・畜産業の担い手育成や農業の活力増進の取組には「不満」～

豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」が36.3%(満足:7.1%、やや満足:29.2%)が最も高く、次いで「観光資源を活用した観光誘客の取組」が31.7%、「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組」が30.0%、「様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信など情報発信の取組」が23.7%と続き、自然・環境の保存や資源を活かした観光の取組、次世代エネルギーの推進等の取組や各種媒体を活用した県民への情報発信に対する取組を評価している。

図8 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度 (n=1,450)



問4-1-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組について、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。(平成28年度-平成29年度比較)

～「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」が高い～

今後優先すべき重要度の項目は、「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」が47.6%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が42.6%、「農林水産物の販売戦略」が35.1%、「観光資源を活用した観光客誘客の取組」が33.6%、「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」が31.5%と続き、農業振興に関連した取組と観光振興に関する取組が上位を占めている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「観光資源を活用した観光客誘客の取組」が1.8ポイント増加、「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」が1.6ポイント増加している。

年代別でみると、30～70歳代で「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」「農林水産物の販売戦略」等の農業関係の意見が多く、10～30歳代で「観光資源を活用した観光客誘客の取組」「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」等の観光関連を優先すべきとの意見が多くみられる。

性・年代別でみると、男性の50～60歳代で「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農林水産物の販売戦略」、10～20歳代で「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」の割合が高い。女性の10～50歳代で「観光資源を活用した観光客誘客の取組」、40～50歳代で「農業の活力増進に関する取組」の意見が多くみられる。

図9 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度

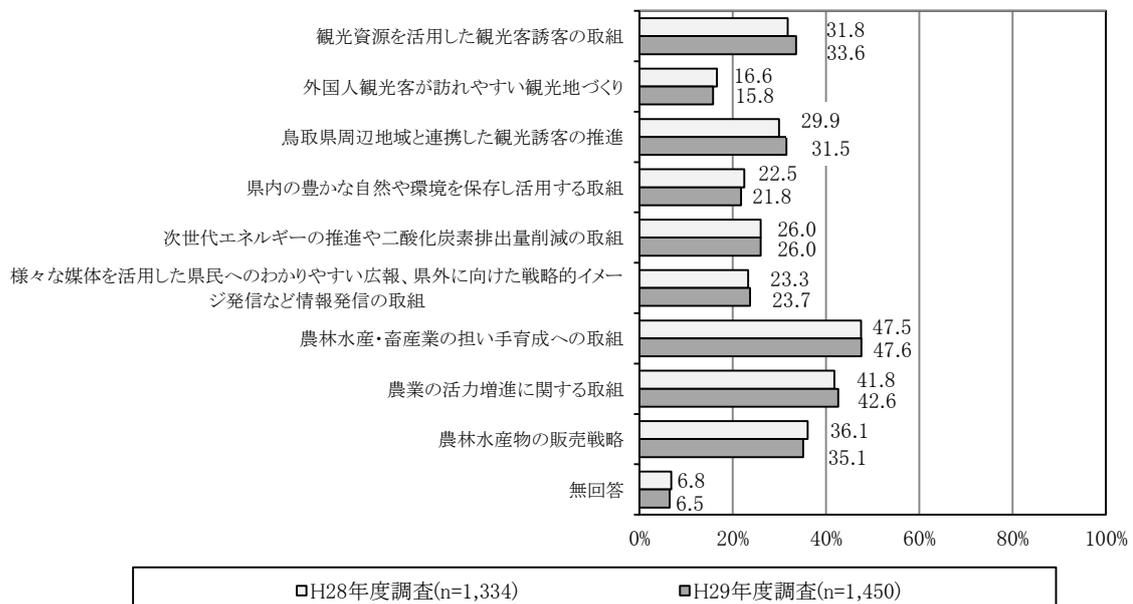
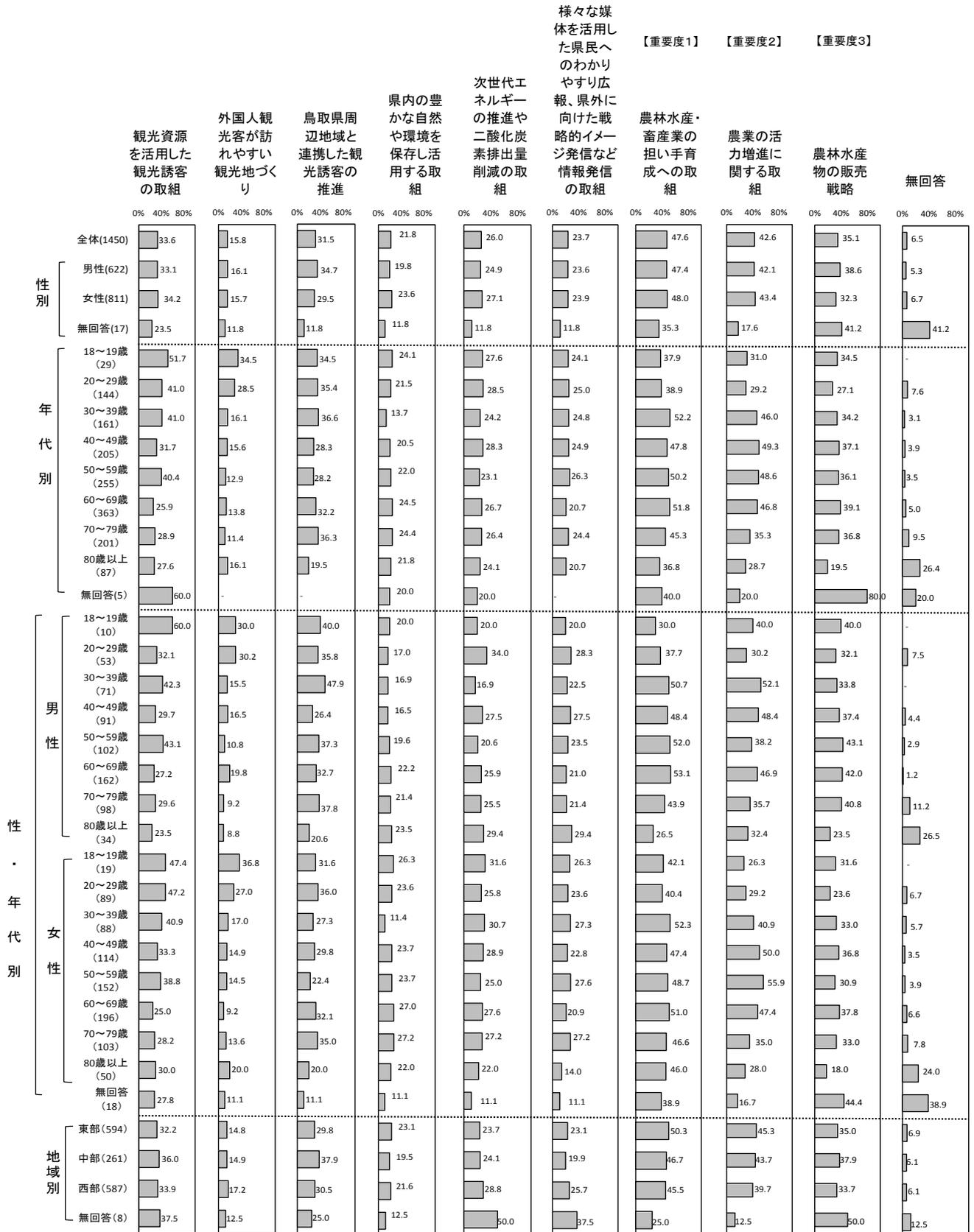


図 10 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(今後優先すべき項目)



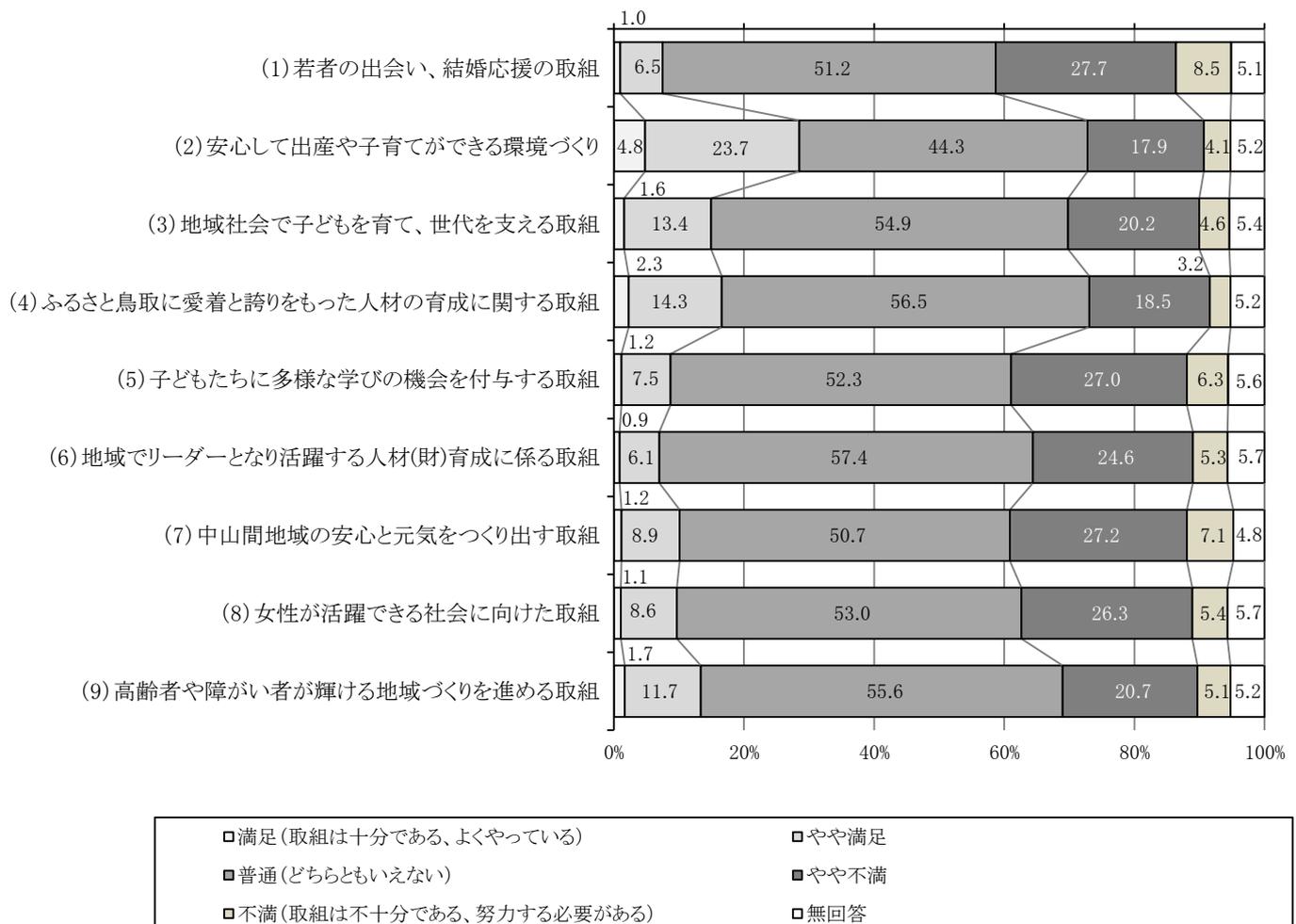
問 4-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～安心して出産や子育てができる環境には「満足」と感じているが、
若者の結婚応援や中山間地域の支援について「不満」を感じている。～

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住むための取組について、満足度(満足・やや満足の計)が不満度(不満・やや不満の計)を上回っている項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が28.5%(満足:4.8%、やや満足:23.7%)のみであり、不満度22.0%を6.5ポイント上回っている。

一方、不満度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「若者の出会い、結婚応援の取組」が36.2%、「中山間地域の安心と元気を作り出す取組」が34.3%、「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が33.3%と続き、結婚応援、中山間地域への取組、子どもたちへの学びへの取組に不満の意見が多くみられる。

図11 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1450)



問4-2-1 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「安心して出産や子育てができる環境づくり」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が44.3%と最も割合が高く、次いで「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」、「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が35.7%、「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が34.2%、「若者の出会い、結婚応援の取組」が33.7%と続き、『出産・子育ての環境づくり、子どもたちの学びの機会、中山間地域の活性化、高齢者・障がい者が輝ける地域づくりや結婚支援』の取組が上位項目となっている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」が4.9ポイント、「若者の出会い、結婚応援の取組」が3.6ポイント、「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」が2.8ポイント、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が1.7ポイント、「地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組」が1.5ポイントと、増加している。

年代別にみると、10～30歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」、10～40歳代で「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」、40～70歳代で「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が高くなっている。

性・年齢別でみると、男性の10～30歳代「安心して出産や子育てができる環境づくり」「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」の割合が高い。また女性の20～30歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」、20～40歳代で「女性が活躍できる社会に向けた取組」の意見が多くみられる。地域別にみると、東部、西部で「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」の意見が多くみられる。

図12 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度

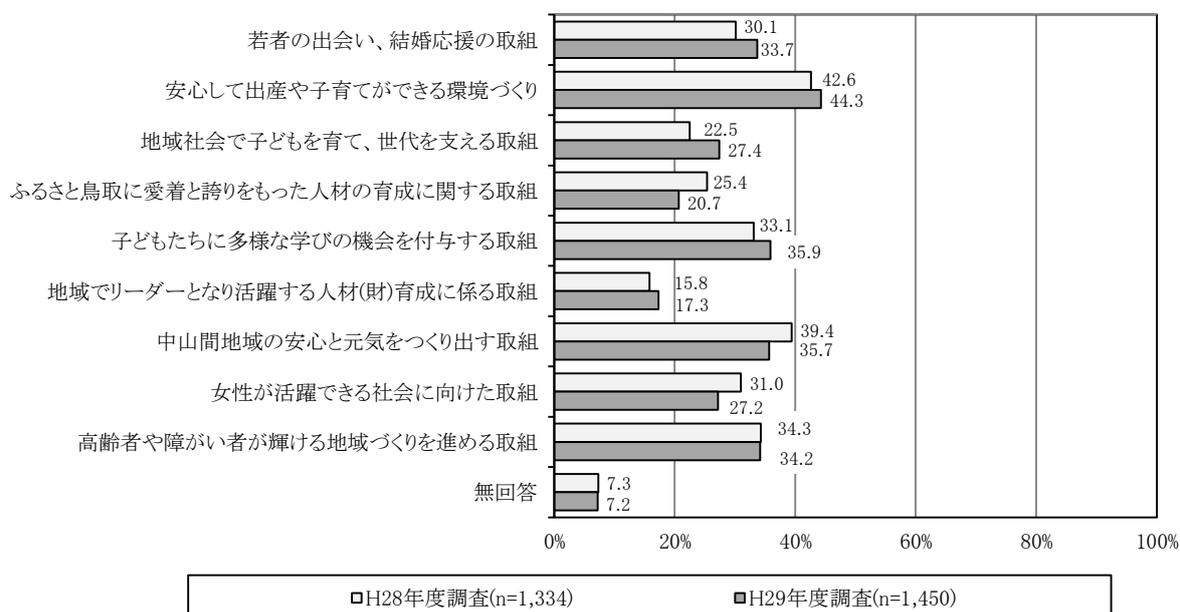
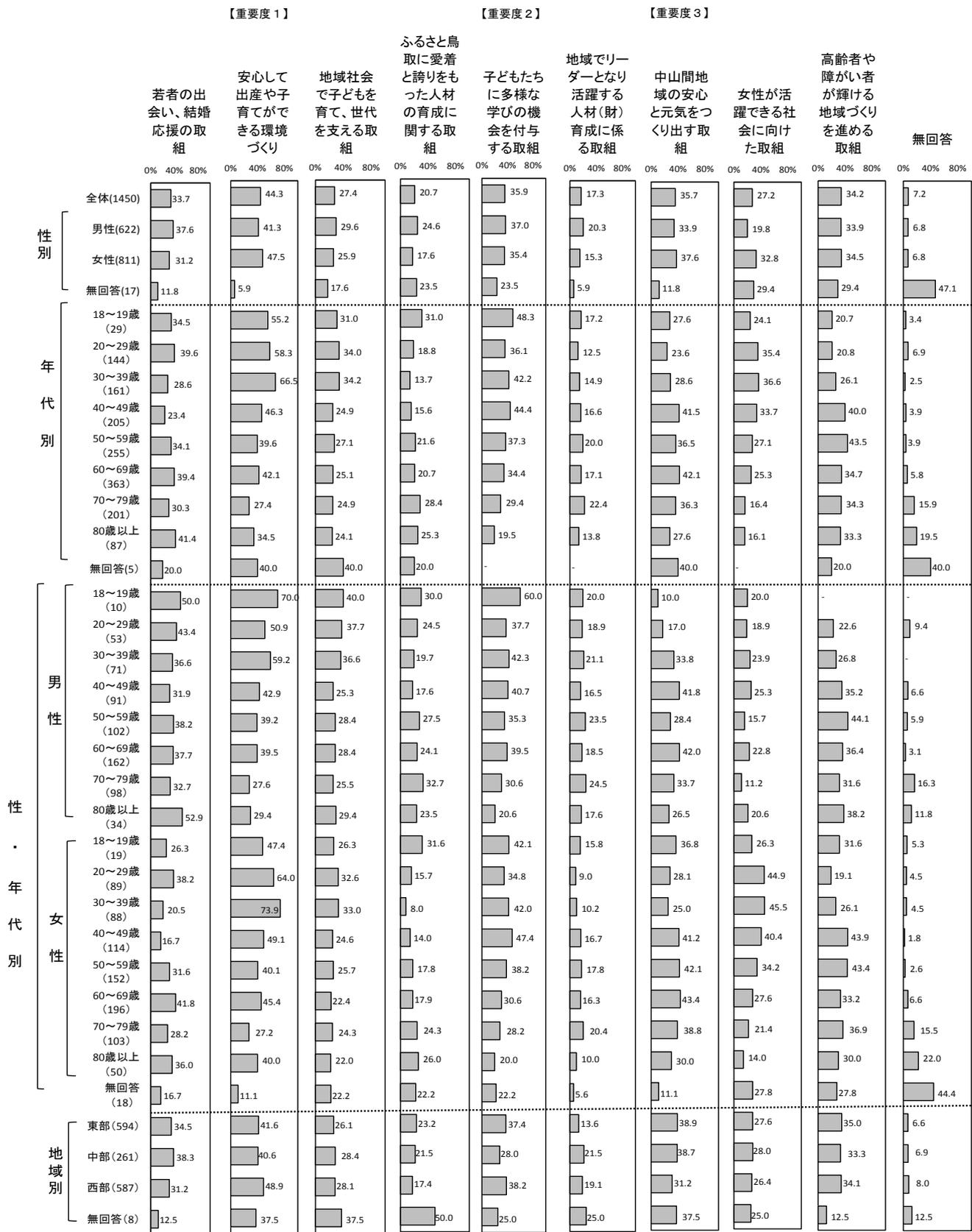


図 13 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(今後優先すべき項目)



問4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

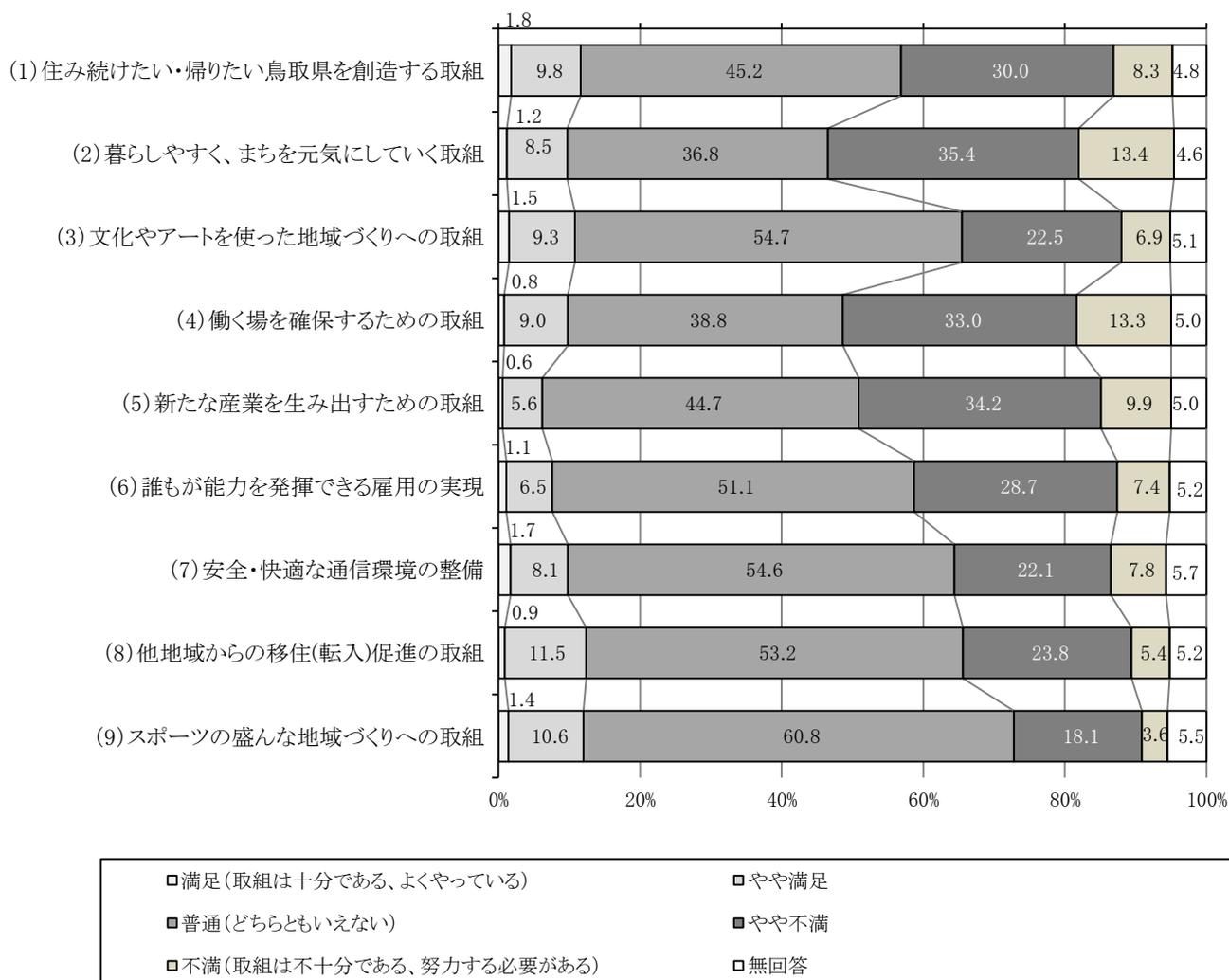
～移住促進・スポーツ面の「満足」は1割強が感じているが、

まちを元気にする取組、雇用の確保、新たな産業の創出に対して「不満」を感じている～

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむための取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「他地域からの移住(転入)促進の取組」が12.4%と最も高く、次いで「スポーツの盛んな地域づくりへの取組」が12.0%と続いているが、各項目とも不満度(不満・やや不満の計)が満足度(満足・やや満足の計)を上回っている。

不満度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が48.8%、「働く場を確保するための取組」が46.3%、「新たな産業を生み出すための取組」が44.1%と続き、『まちづくり、雇用の確保、新たな産業創出』に不満の意見が多くみられる。

図14 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度 (n=1,450)



問4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「働く場を確保するための取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「働く場を確保するための取組」が57.4%と最も割合が高く、次いで「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が54.1%、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が45.7%と続き、『働く場の確保や住み続けたい鳥取県の創造、まちを元気にしていく』取組が上位となっている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「新たな産業を生み出すための取組」が4.2ポイント増加、「暮らしやすくまちを元気にしていく取組」が2.5ポイント増加、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が1.3ポイント増加している。

年代別にみると、20～30歳代は「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、30～50歳代は「働く場を確保するための取組」の回答が多くみられる。

性・年代別でみると、男性の40～50歳代は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」、30～60歳代は「働く場を確保するための取組」の意見が多くみられる。女性の50歳代は「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」、10～40歳代は「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、30～50歳代は「働く場を確保するための取組」「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」の意見が多くみられる。

図15 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度

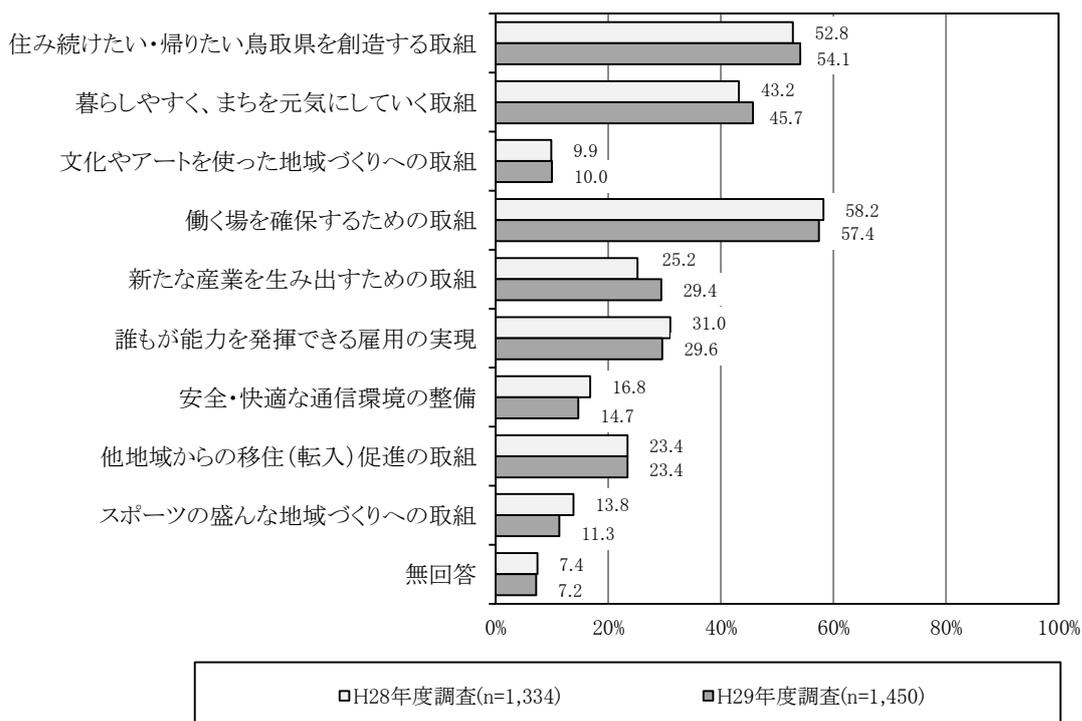
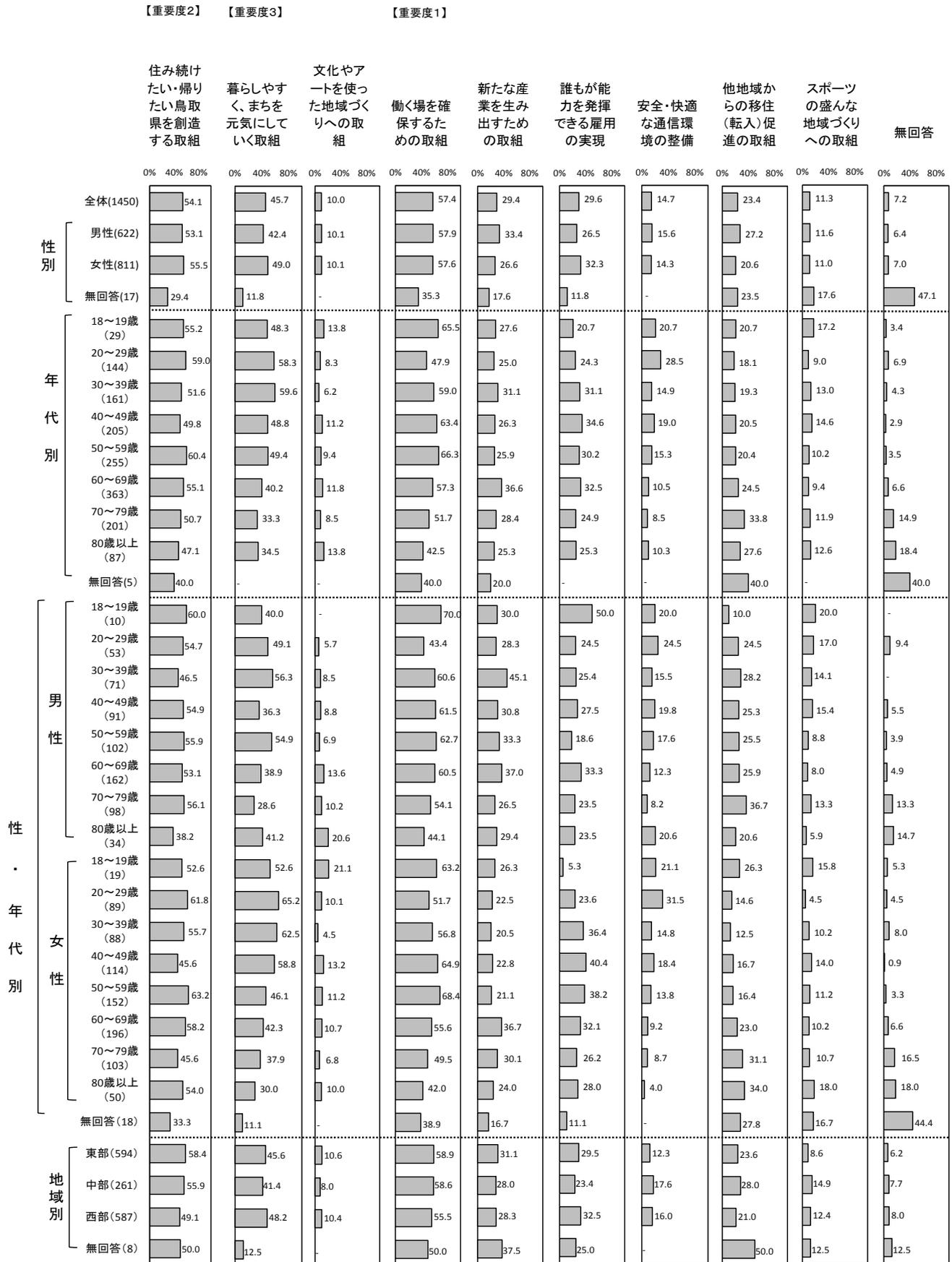


図 16 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(今後優先すべき項目)



問4-4 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

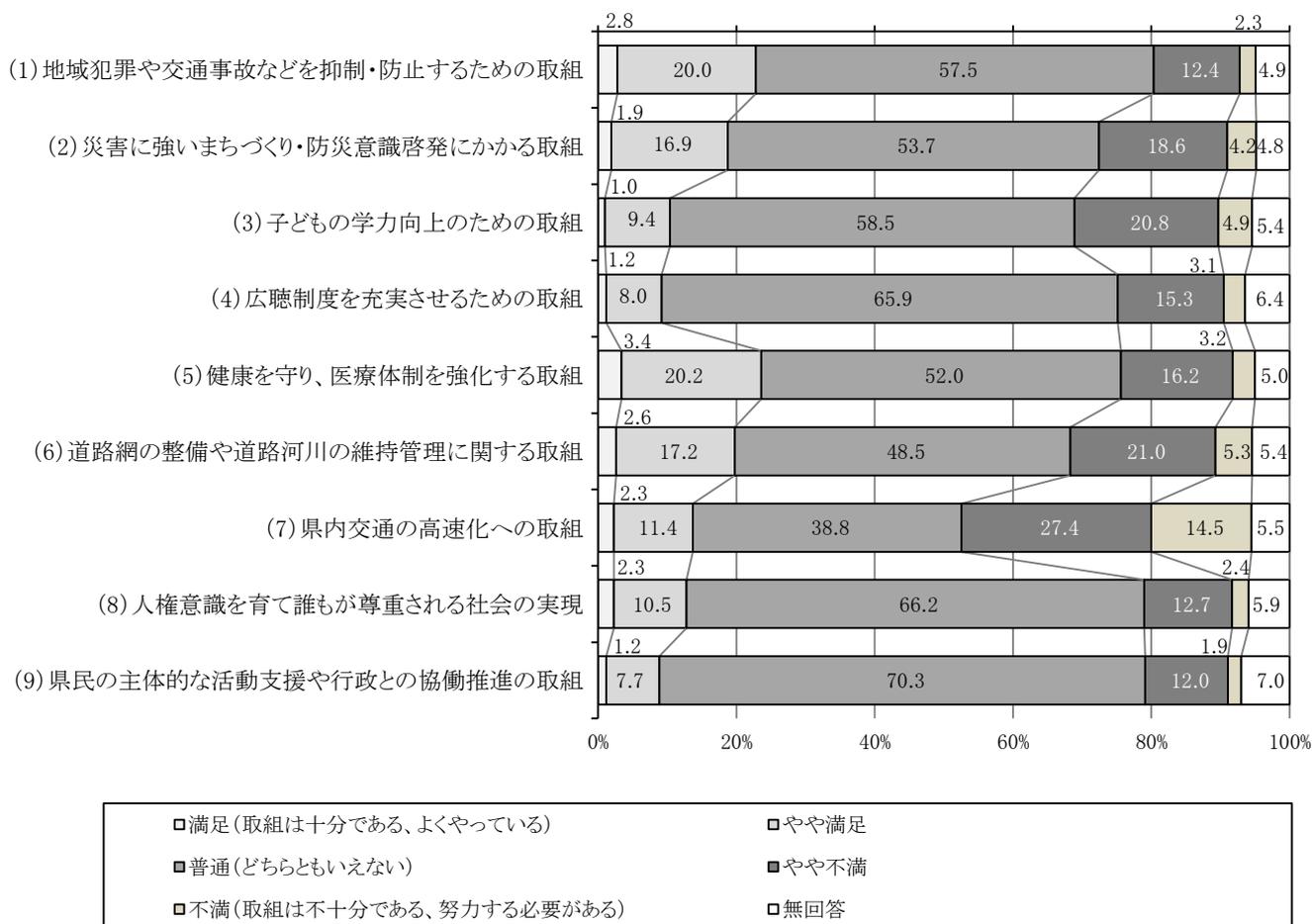
～医療体制の強化や地域犯罪・交通事故防止には「満足」と感じているが、

交通の高速化や道路河川の維持管理の取組について「不満」を感じている～

県政のさまざまな取組について、満足度(満足・やや満足の計)が不満度(不満・やや不満足)を上回っている項目は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が23.6%(満足度:3.4%、やや満足:20.2%)と最も高く、次いで「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」が22.8%となっている。

一方、不満度(不満・やや不満の計)の高い項目の上位は、「県内交通の高速化への取組」が41.9%(不満:14.5%、やや不満:27.4%)と最も高く、次いで「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が26.3%、「子どもの学力向上のための取組」が25.7%、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が22.8%と続いている。

図17 「県政のさまざまな取組」の満足度(n=1,450)



問4-4-1 「県政のさまざまな取組」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が51.2%と最も割合が高く、次いで「健康を守り、医療体制を強化する取組」が46.6%、「県内交通の高速化への取組」が43.9%と続き、「防災や医療体制の強化、高速道路への取組」が上位となっている。

平成28年度と比較してみると平成29年度では、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が3.9ポイント増加、「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が1.7ポイント増加している。

性別でみると、男性は「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」「県内交通の高速化への取組」、女性は「健康を守り、医療体制を強化する取組」の意見が多くみられる。

年代別でみると、10～40歳代は「子どもの学力向上のための取組」、20～50歳代は「県内交通の高速化への取組」の割合が高い。

性・年代別でみると、男性の60歳代は「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「健康を守り、医療体制を強化する取組」「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が多く、女性の10～40歳代は「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」、40～70歳代は「健康を守り、医療体制を強化する取組」の割合が高い。

図18 「県政のさまざまな取組」の重要度

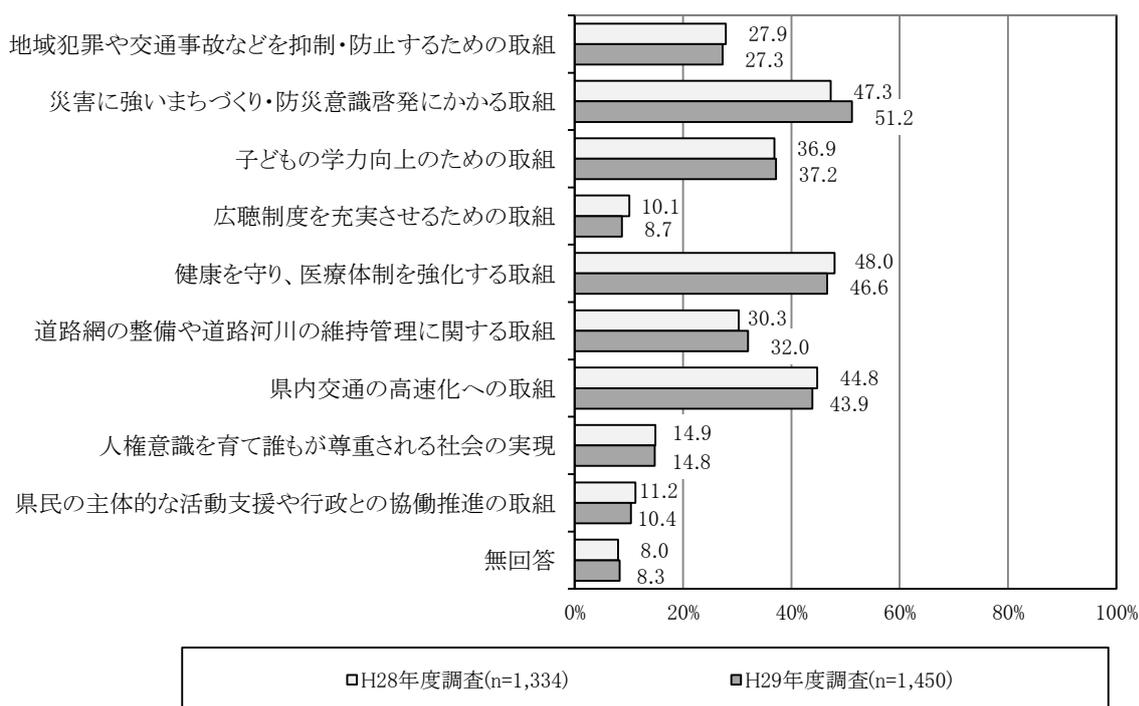


図 19 県政のさまざまな取組(今後優先すべき項目)

